

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市南区相模大野7丁目計画	階数	地上14F
建設地	神奈川県相模原市南区相模大野7丁目722番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	104人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年5月24日
敷地面積	614㎡	作成者	株式会社IAO竹田設計 東京第一事務所
建築面積	231㎡	確認日	2017年5月24日
延床面積	2,156㎡	確認者	株式会社IAO竹田設計 東京第一事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	かねてからの住宅街である敷地状況と、低層建物の並ぶ周辺環境から、計画建物は眺望や室内に入り込む風が十分に期待できる。開放感をもちつつ住宅地の中にふさわしい落ち着いた雰囲気をもった建物とする。	その他 0
Q1 室内環境	高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材を採用し、室内環境の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 相模原開発基準条例に適合し20%以上の緑化を確保した。
LR1 エネルギー	住宅性能表示の省エネルギー対策等級において等級4相当の計画としている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ が少なくなるように努力した。また接道部分を可能な限り緑化し、街並みの景観に配慮している。
Q2 サービス性能	維持管理、維持管理機能に配慮した設計とし、住宅性能評価における劣化対策等級3としている。	
LR2 資源・マテリアル	節水水栓を採用し、水資源の保護に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される